



令和6年度 WOMANTーク総まとめ

～ 若者と子育て世代が選ぶ未来の龍ヶ崎へ ～

龍ヶ崎市総合政策部まちの魅力創造課

WOMANTークについて

少子化の進行が進む中で、「消滅可能性自治体」という言葉が再び大きな話題となった。その中でも「若い女性」が、地域の存続や活性化において重要な役割を担うキーパーソンとなる。

目的・概要

「出会いや結婚」「住みやすさ」「働きやすい環境」「ワークライフバランス」について若年女性の率直な意見をもらい、「未婚化・非婚化、少子化」に対する支援のヒントを得られるのではないかな？

市女性職員10名、民間事業者等6名からなる女性だけの会議体WOMANTークを設置し、意見交換を行った。

結婚や子どもを望む人の支援
ライフステージに応じた働き方の促進
住み続けたいくなるまちの整備

WOMANTーク スケジュール



1回目

市役所若手女性職員による女性の本音トーク

R6.6.25開催

2回目

1回目の振り返り、3回目に向けて

R6.8.23開催

3回目

第1回官民合同 WOMANTーク

R6.10.8開催

4回目

第2回官民合同 WOMANTーク

R6.12.11開催

5回目

WOMANTークでの意見をまとめ市長にレポートを提出

R6.1.24開催

若者子育て世代に 選ばれるまち

- どこに住みたい？
- 龍ヶ崎の良いところ

出会いの場として 有効なのは

- マッチングアプリを使ったことはある？
- 職場での出会いは？

仕事と子育て 家事との両立

- 子育てって大変？
- 旦那さんは手伝ってくれる？
- 子育て中に職場や仕事は、、、、
- 2人目以降は産んでみたい？

男性の育児休業

- 男性の育休は必要？
- 育休取得の満足度

若者子育て世代に 選ばれるまち 出会いの場として 有効なのは

市役所と民間で同じところ
違うところ

仕事と子育て 家事との両立 男性の育児休業

- 行政に求める子育て支援
- どうして龍ヶ崎の職場に決めたの？
- 自慢の福利厚生

市役所と民間で同じところ
違うところ

WOMANTーク レポート 最終調整

市長にWOMANTーク
レポートを提出
&
市長と懇談

女性から出た意見を聞いて、男性はどう思ってるの？
男性側の意見を座談会形式で聞いてみた！
R6.11.1開催



若者・子育て世代に選ばれるまち



- 龍ヶ崎市に住み続けたい？龍ヶ崎市は住みやすい？
- 龍ヶ崎市以外で住みたい場所とその理由は？

市役所



- 龍ヶ崎で育ち、家族も友達もいるので龍ヶ崎にずっと住み続けたい
- 子育てを考えると若い世代の多い地区が良い
- 「たつのこやま」はじめ公園が多い。さんさん館など子育て環境が良い
- 東京は遊びに行くのは良いけど、ずっと居たくない
- 龍ヶ崎は常磐線一本で東京に出られて不便を感じない
- 通勤に時間をかけたくない。人混みが嫌。龍ヶ崎に住み続けたい
- 生活用品など買い物等に困ることがなく、龍ヶ崎は住みやすい！
- 都会は、物価が高いので、龍ヶ崎は暮らしやすい
- 老後に免許を返納したときの生活が不安。駅近マンションが良い
- 都会にあこがれがあるので、龍ヶ崎市を出たい
- 散歩が好きなのできれいな街に住みたい

民間



- 結婚したらわからないが、龍ヶ崎に住んで同じ職場に勤め続けたい
- 龍ヶ崎は買い物に不便さ感じない
- 駅近マンション(龍ヶ崎市にはあまりないけど)
- 商業施設もあり自然もあるほどよい田舎に住みたい
- 流山。きれいな街並み、おしゃれなお店が多い
- ひたち野うしくかつくば。きれいで治安が良い
- 親戚がいる横浜
- 教育に力を入れているので流山かつくば
- 以前住んでいた都市は物価が高く日用品の買い物に苦労した

女性の意見のまとめ

- 住み慣れた地元で暮らしたい人がいる一方、整備されたきれいな街をに住みたい
- 家族、親戚、友人などの近くに住みたい
- 市役所＝龍ヶ崎に住み続けたい人が多い。民間＝龍ヶ崎市外でもOK

若者・子育て世代に選ばれるまち



- 市役所女性からは龍ヶ崎に住み続けたいという意見が多かったが、男性から見た龍ヶ崎の住みやすさは？
- 民間女性から、市外に住みたいとの意見が多かったが、龍ヶ崎に住みたいと思えるには何が必要？



男性

- 日用品の買い物に不便を感じない。市内になくても市外にある。(特別なものは市外に買い物に行くがアクセスが良いので苦ではない)
- さんさん館はとても良い施設。他市からの評判も良い
- 天候に関係なく遊べる室内の遊び場の整備(子どもの遊ぶ場所が少なすぎる)
- さんさん館は年齢制限がされている。土日の利用ができない。小・中学生も遊べる空間が欲しい
- 子育て支援施設西側にも欲しい
- 歩道…夏場は雑草の伸びるスピードが速く、伸びた雑草によって子どもと手を繋いで歩くスペースが狭くなっている
- 18時以降のサポーター。実家がない市外出身者目線からは、是非制度を作ってほしい
- 歩道がガタガタで、妻がベビーカーを押しづらいと言っている

この章の意見のまとめ



男性、女性ともにさんさん館はとても好評！
子育て環境がさらに良くなるよう、天候に関係なく遊べる施設を希望する意見があった



男性から道路の雑草や歩道の整備について不満の意見があり、道路や歩道の整備をすることで女性が望むきれいな街に一步近づく

出会いの場として有効なのは？

～マッチングアプリ編～



- マッチングアプリは使ったことはある？無料クーポンがあったら使いたい？
- 恋活イベントに対するイメージは？



市役所

- 周りにマッチングアプリ使っている友達が多い
- マッチングアプリのほうが手軽
- 使ってみたくても、弄ばれるのではないか心配

【恋活イベント】

市職員のためのWOMANトークで聴取

- 最初からリアル(対面)はハードルが高い
- お金をかけて出会いを求めている男は基本モテない
- 結婚相手として考えられない
- 地元の恋活イベントは行きづらい



民間

- お試しでできるなら使ってみたくても身バレが嫌だ(エリアを特定すると知り合いがヒットする)
- 直接行くイベントよりお手軽
- 有名な企業のアプリは使ったことがあるが、無料クーポンをもらってもやるかはわからない
- 友達がマッチングアプリで結婚した
- 無料クーポンで寄ってくる男性は期待できない
- マッチングアプリで知り合って痛い目をみた知り合いがいたので心配
- 恋人ができ、まじめに付き合っている人もいるので悪いものではない
- 周りにマッチングアプリ使っている友達多い

女性の意見のまとめ

- 若者のあいだで一定数マッチングアプリを利用している、利用したことがある一方、真面目な出会いができるか疑問がある
- 恋活イベントに係る質問は市役所のための聴取となったが、地元で開催される恋活イベントは行きづらいうやリアル(対面)はハードルが高い印象があるようだ

出会いの場として有効なのは？

～マッチングアプリ編～




- 男性から見たマッチングアプリの印象は？
- 女性は、男性が遊び目的でマッチングアプリをやっているのではないかと不安に思っている。マッチングアプリは遊び目的で使っているの？




男性

- 付き合った人も周りにいるので、ネガティブ要素だけではない
- 学生時代より出会いがすくなくなった。アプリでの出会いも一つ
- 中には遊び目的の人もある。必ずしも出会いの場として使われていない
- 結婚を見据えていない人もいる
- 最初からある程度条件にあった人を選べる
- はじめからリアルに会うのは抵抗がある
- 未だにマッチングアプリ=出会い系というイメージが残っている

この章の意見のまとめ

 男性も女性も、マッチングアプリの出会いとしての有効性を認識しているものの、騙されるのではないかと不安がある。公的機関が上手に関与し、利用者の不安感の解消と安心感を高めれば、いい出会いが生まれるのではないか？

 男性も女性も最初からリアル(対面)はハードルが高いとの意見があった。男性側から、ある程度条件にあった人を選べるという意見があり、タイムパフォーマンスを意識する若者には効率的なツールである

出会いの場として有効なのは？

～職場編～



- 職場での出会いは考えられる？
- 職場で若手の親睦を深めるための飲み会やイベントはある？

市役所



- 親睦を兼ねて、若手の飲み会を人事の部署でセッティングしてくれた時代があった。そういうのに参加するのはあり
- 同年代が交流できるように、研修を設定してくれている
- 仕事ができる人はカッコいい(同じ職場もあり)
- 職場内の相談に乗ってくれたり共通の話題が多い

【結婚観】

市職員のためのWOMANトークで聴取

- 結婚は好きな気持ちと勢いとタイミング！
- 結婚願望はないが、世間体的にいずれ結婚しないきゃと思っている
- 趣味にお金を使いたいので結婚は考えていない
- 周りがみんな結婚しているので、当たり前にするものと思っている

民間



- 社内恋愛を推奨してくれる会社の風土「おしどり保護法」という制度があり、希望すれば同じ勤務地に配属してくれる社内恋愛にも寛容な雰囲気
- 女性が多い職場なので、あまりない。周りは同級生と結婚する人が多い
- 交流する機会があるため同業種同士での恋愛、結婚もあるが、同じ職場での結婚は嫌だと思っている同僚が多い
- コロナ禍になる前は、ボーリング大会などを会社が企画してくれた

女性の意見のまとめ

- 押しつけ感の少ないイベントなら楽しく参加してくれるのではないかな。職場でイベントを企画することもありかも
- 飲み会も気を使わない同年代となら参加したいという意見があった
- 民間事業者ならではの「おしどり保護法」のような制度があり、ウェルカムな雰囲気づくりも有効になる
- 結婚観については市役所のための聴取となったが、大半の人が結婚を意識するタイミングはあるようだ

出会いの場として有効なのは？

～職場編～



- 女性は職場での出会いのきっかけ、交流の機会はウェルカム。仕事ができる人はカッコいいとの意見も…
- 男性は出会いのきっかけとして、職場は考えられる？
- 結婚を考えるタイミングはいつ頃？



男性




【職場での出会い】

- 職場の組合などで同年代の飲み会があった。こういった飲み会は出会いの場として気を使わなくていい
- 社会人になる(入社)のタイミングは出会いの場
- 同じ職場内はあまり考えられない
- 職場内(社内)恋愛は破局後の関係性に傷が入るのではないかと懸念がある

【結婚を考える時期やきっかけ】

- 20代前半(就職のタイミング)
- 30代で交際するなら、結婚前提での付き合いになる
- 養っていける経済力が見込めたら

この章の意見のまとめ

-  男性も女性も、飲み会などで仲良くなるきっかけとなる。職場でイベントを企画してくれると参加しやすい
-  男性から、職場内恋愛は破局後の関係性に傷が入るのではないかと心配している。女性からは、仕事ができる人はカッコいいという意見がある一方、同業種同士の恋愛、結婚は良いが、同じ職場では嫌だとの意見があり、身近で良さを感じる分、やりずらさもあるようだ
-  結婚のタイミングにおいて、女性は好きな気持ちと勢いとタイミングという意見があったが、男性側は就職や経済力ができてから考えると聞いた意見が多かった

仕事と子育て、家事との両立



- 近頃は共働き家庭が大半を占めるが、女性が働き続けるため、なにに不満や不安を感じている？

市役所



- 仕事を続けたいと思っているが、両親のサポートがないので、パートナーが協力してくれるか不安
- 子育てにはお金は大事。夫の理解と協力
- 子育てをする側のメンタルが保てるか不安(虐待したくない)
- 自分のことで手一杯自分になれるのか
- 部分休業を取得しているのに、仕事が終わらず、挙句に休日に残務整理している状況。全然優しくない
- 細かいことに気づかない。日によって家事をやったり、やらなかったり
- 子育てや家事を夫婦で半分半分にやるのが理想

民間



- 家事をするときに、いちいち聞かないで自分で判断してほしい
- 子育ても対等にしてほしい
- 自分が家事をした方が早いですが、夫にもやってほしい
- 家事は私がやるので、子どもの相手をしてほしい
- 実家の近くでサポートしてほしい
- とにかく一人の時間が欲しい！1日、半日、数時間でも良い！
- 仕事を続けたいので、夫の働き方を変えてほしい。夫が育児に参加し、2人で子育てができる環境がほしい
- 1人でできる事務作業は自由な時間で作業できるように、フレックス制度を導入してほしい
- パートなど雇用形態を変えないと働き続けるのは難しい
- 休むと誰かにしわ寄せされてしまうのが申し訳ない

女性の意見のまとめ

- 子育て中は時間、体力的に余裕がなく、誰かのサポートや一人になる時間が必要。実家の近くに住んで、夫以外のサポートを望んでいる
- 共働きなので、家事や子育てに関して、協力的にやりたいが夫の家事スキルが伴わない
- 経済的なことを考えると、時短勤務をとったり雇用形態を変えて働きながら子育てをすることが前提

仕事と子育て、家事との両立



- 女性が働き続けるため、不満や不安を抱いているが、パートナーとして協力できることは？



男性

- 奥さんは出産後はイライラしていて、家事などはできるだけ協力している
- 育休中は自身が家事・育児をし、妻の1人時間を作っていた
- ミルクをあげたり、手伝い程度はできた

【どんな支援があるといいか(経済的なこと以外で)】

- 出産を機に離職した場合でも、女性が社会復帰できる環境
- 男性の育休取得の柔軟性向上
仕事の状況によって左右されるが、理想は好きなタイミングで必要な日数取得できると良い
※連続で取得するのは不便を感じる。1年間連続は長すぎるし、2週間は短すぎる

この章の意見のまとめ

- ☞ 女性は出産を経て、精神的に不安定になりがちな部分がある。短時間でも子育てから離れる時間が必要
- ☞ 産後や育児中の女性の大変さを男性も理解してくれており、家庭の問題というより、子育てに協力的な職場環境が必要との意見が多い
- ☞ ミルクをあげたり、手伝い程度はできた。日によって家事をやったり、やらなかったりというように家事、育児に対してもう少し積極的に男性が関われそう

男性の育児休業について



男性の育児休業の取得について、率直な意見、感想を教えてください！



市役所

- 職場の都合に合わせて、取得日が決まってしまう。育休を取得した実績だけがほしいとしか思えない
- 夜の授乳で眠れない大変な時期に育休が取れない
- 男性の育休ってこんなもの？1日取っただけでも実績になる!?
- 育休100%は見せかけだ！中身がない！
- 二人で部分休業が取れれば、分担して家事・育児ができる！でも、お給料が減ってしまうので現実はむり
- 職場の理解も必要。部署によっては、残業がないところもあるので、子育てに参加できる。人員に余裕のある職場にしてほしい
- 部分休業(時短勤務)を男性にも取得してほしい



民間

- 仕事をして帰ってからも子育てをすることはストレス。一緒に休暇制度を取得したい
- お金は大事だけど育児は一瞬。育児に参加して、内容が充実していれば育休を取ってほしい
- 育児のためなら、自分の休息にもなるので休みを取ってほしい
- 大変な時は実家を頼るので夫には仕事を優先してほしい。稼いでほしい。
- お金が優先
- お金がたまってから出産すれば、育休を取っても良い

女性の意見のまとめ

- お給料が減ってしまうと困るので、休業制度は利用せず、男性には仕事をしてほしい
- 精神的余裕が生まれるなら、男性の休業制度取得の賛成派もいる
- 希望する時期に取れない。しかも2週間程度と短い(P.11に記載あり)

男性の育児休業について



市役所の育休の取得率 男女ともに100%

民間事業者① 女性100% 男性33%

民間事業者③ 男女ともに100%

民間事業者② 女性100% 男性55%

民間事業者④ 制度はあるが取得実績なし。取得希望すれば取れる

男性



- 子育てがしたく、東京⇒役所へ転職したが、当時より帰りが遅い
- 公務員って2週間くらいしか休みが取れないんだ
- 民間勤務時は最大で半年くらい取れていた(パパ育休/給与6割)
- 前職は職場の人員が足りなければ、短期雇用などで補っていた
- 2週間の育休は短い(いない方がマシなのではないか?)表向きの育休取得に感じる
- 半年くらいはとりたい
- 教職員は年度単位で1年取得が多い(給与6割)⇒長すぎる

この章の意見のまとめ



取得率ではなく、内容、期間の充実を望む意見があった



男性は、お金<子育ての精神的余裕

女性は、お金>子育ての精神的余裕を求める意見が多かった

育児に対する職場の雰囲気、制度が改善・充実すれば、夫婦が協力して仕事も育児もできる

行政に求める子育て支援



これまでの意見の中で、子どもを育てるには家庭だけでは十分でないことも多数あった。子育て中に直面する困りごとなど、行政にどのようなサポートを期待しますか？

女性



- 物価高に対抗できるよう商品券や助成金、ミルク代の補助、金銭面での補助
- パパ向け子育てイベント
- きれいな公園(雑草がすごいので子どもが遊べるよう、定期的に管理してきれいな状態を保持してほしい)
- 室内で遊べる施設
- さんさん館の土日開設
- 子どもがいると手続きが多いが、来庁して書類を紙に書く負担を減らしてほしい
- 人によってほしいものは様々なので、平等に受けられる教育の充実
- 未就学児より大きい子に向けたシーズンごとのイベントや大きい公園を活用したイベントの充実、近場で楽しめるイベント
- 予算の都合があると思うが、公共施設の修繕等迅速に対応してほしい
- つくばみらい市のきらく山で開催した子ども向けアート体験イベントが良かった
- 公園にインクルーシブ遊具を設置して、誰もが遊べるようにしてほしい

男性



- ミルクの助成 妻の負担を減らすためミルクをあげるのは男性もできるが、物価高によって経済的負担大きい
- 天候に関係なく遊べる室内の遊び場の整備
- さんさん館の土日開設

この章の意見のまとめ

☞ 子育てにはお金がかかり家計の負担が増えるため、経済的支援を望む意見があった

☞ 真夏の炎天下など天候を考えずに、室内で遊べる施設、さんさん館の土日開設を望む意見があった

その他・・・ママの一人の時間をつくるため、パパのコミュニティとして、子育て支援施設にパパ用のイベントがあっても良いかも！

どうして龍ヶ崎の職場に決めたの？

女性のみ



若い女性が東京へ転出する傾向がある中で、なぜ東京都心への通勤圏内でありながら、龍ヶ崎市内の職場を選んだのか？

市役所



- 都内も含めいろいろな企業も受けたが、安定した公務員を選んだ
- 生まれてからずっと龍ヶ崎に住んでいる。家族もいるのでこれからも住み続けたい
- 都内は家賃が高い。親元で暮らして、金銭的、時間的な余裕が欲しかった
- お金が貯まったら転職して一人暮らしをしたい
- 志望の職種の試験に落ちてしまい、龍ヶ崎市役所の採用試験に受かったから
- 民間企業に勤めていたが、役所の雰囲気良さで転職した
- もともと公務員志望。学生時代に都内でひとり暮らししていたが、このまま東京で暮らすのが嫌だった

民間



- 地元の職場で学んだことを活かしたかった
- 家から近いことと、志望の職種で職場を選んだ
- 龍ヶ崎と決めて職を探したわけではなく、働きやすい職場が龍ヶ崎にあった
- 通勤時間と志望の仕事で龍ヶ崎に決めた
- コロナ禍で仕事が激減し、家族の元に戻ってきた
- 転勤などがあっても通える範囲の企業を選んだ

女性の意見のまとめ

- 地元から通える範囲の職場を選ぶ方が多い
- 都内はお給料が良いが家賃も高く生活費に消えてしまうので、実家から通える職場を選択する人もいるようだ
- 職種で選ぶ場合、通える範囲であれば勤務地にそれほどこだわりはない

自慢の福利厚生はある？

女性のみ



民間事業者には、市役所にはない働きやすい職場環境に繋げるための福利厚生があるのではないかな？

市役所



- 市役所は1年目から有給休暇20日、夏季休暇6日もらえているが、民間企業だと6年目からもらえる日数
- 一人目の時短勤務中に2人目の育休を取得する場合、育休手当が満額から6割で支給される。民間は、時短勤務後の給与×6割支給

民間



- 上限はあるが、家賃9割補助。マイホームを建てると100万円補助
- 女性のピル処方を会社が全額負担してくれる
- 出産後時短勤務をしている間もフルタイム時の手当てをもらえる
- 人員のフォローがあり有給休暇が取りやすい
- 年に1回連続5日間とる有給休暇がある。前後の土日を含めると最長9日間取得できる。
- 年に4回打ち上げなどに利用できる5,000円の補助金がある

女性の意見のまとめ

- 出産や子育てには、職場の環境(働きやすさ)の充実が重要
- 市役所は、休暇に関するものや、育休中の給与の支給計算など民間より優遇されているものがある
- 民間事業者は、家賃補助やピルの処方など特色がある福利厚生
- 民間事業者において、有給休暇が取得しやすい環境が整えられてる

皆さんからの意見のまとめ

若者・子育て世代に選ばれるまち

公園を活用したイベント
道路・歩道の整備
屋内で遊べる子育て施設

住みたいまち龍ヶ崎

- 公園の賑わい創出
- きれいな街並みづくり
- 子育て支援施設の設置

出会いの場として有効なのは？
マッチングアプリ編

安心して利用したい
気軽に条件に合った相手探し◎

出会いの場として有効なのは？
職場編

仲良くなるきっかけがあると良い
若者同士の飲み会は嫌じゃない

出会い、恋愛、結婚を望めるような支援

- 若者の出会い支援
- 職場の交流促進

仕事と家事子育ての両立

男性が育児に参加できるように
職場環境を整えてほしい
パパ向けの子育て支援イベント

仕事と子育ての両立

- ワークライフバランスの改善・充実
- 男性の積極的な育児参加の促進

男性の育児休業について

取得率ではなく取得しやすい
柔軟な育休

女性が望むことを込めて**WOMANT**トークレポートを作成